

「維新」流

「身を切る改革」って何だ？

オール大阪

さよなら「維新」vol.5

こわれた！

政務活動費の不正使用などが相次ぎ、「税金は大切に使ってほしい」の声が広がっています。元女性府議は、「(今後30年間で1201億円もかかるムダな)旧WTCビル・咲洲庁舎から撤退」と、今すぐできるムダづかいをなくすことを訴えています。

ところが、「身を切る改革」をいう「維新」は？

政務活動費の不正 **ゾロゾロ**

小林由佳堺市議

「架空のビラ代1000万円」を不正取得

「維新」の堺市議が、「架空の政治活動ビラ」の代金1000万円を政務活動費として不正取得。堺市長は「詐欺罪や公文書偽造罪での刑事告訴も視野に検討」と述べています。

伊藤良夏大阪市議は**高級車「レクサス」購入に政活費**

梅園周大阪市議は**英ダイソン社製高性能掃除機を購入**

今井篤大阪市議は**大学の入学金に支出**

丹野壮治大阪市議は**電動アシスト自転車購入**

浅田均大阪府議が編集に携った初の公式本・「(図解)大阪維新」を大量購入。

「公金で広報・印税還流か」と報道される。

荻田ゆかり府議は**子供の幼稚園への送迎の人件費を支出**

池下卓府議は**本革のいすや机などを購入**

北野礼一堺市議は**ゴルフコンペの景品に支出**

(肩書はいずれも当時)



出口見えぬ泥仕合

維新

めぐりめぐり 法廷闘争

退職金ゼロ？ 実は、手取りは348万円増

知事

知事退職金、全国初の「ゼロ」と宣伝していますが、実際には受け取る額が増えます。1期4年の退職金(1257万6000円)をなくすかわりに48カ月の報酬に分割して上積みします。これが夏冬のボーナス増につながるため、4年間で348万円も手取りが増えるんです。これって「身を切る改革」？

政党助成金奪い合いの裏に

「住民投票での5億円の借金」

「維新の党」の分裂騒動は、政党助成金が振り込まれる通帳の奪い合い、訴訟にまで発展。橋下市長ら「大阪組」が住民投票時に使った5億円の未払い金や、ダブル選挙に使うために固執しているからと報道されています。「維新」の税金だのみの姿が鮮明です。

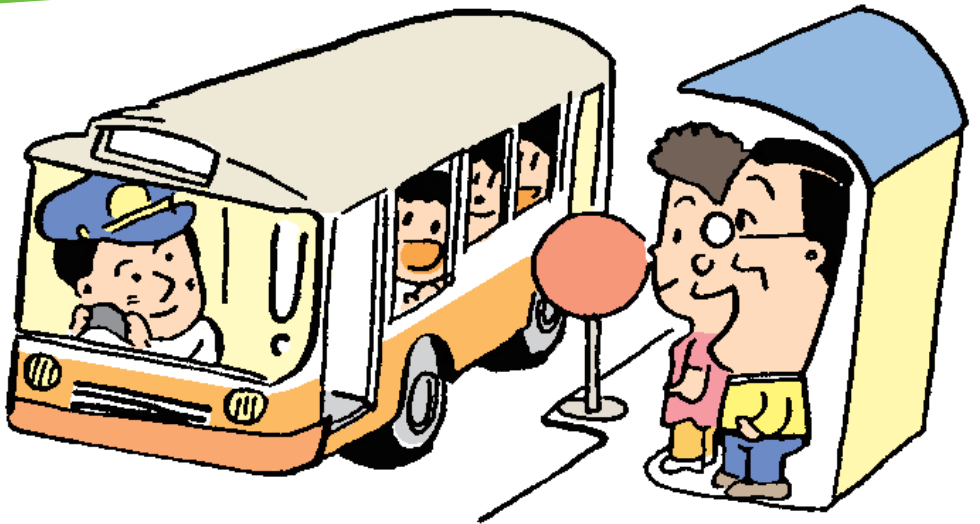
政党助成金を国に返すとカッコつけるが……

- 「維新の党」(東京)の江田前代表は「(大阪の人たちは)『政党助成金は返上』なんて格好つけて言っていますが、党の財政は、あの大阪都構想の借金5億円がまだ未払いで赤字。橋下さんがTVコマーシャルに出まくった経費」と語っています。
- 「維新」は「年内に支給される予定の政党交付金も、いままでかかった経費分は精算して、残余のお金は国庫に返納する」と言っています。でも住民投票時の借金を『清算』したらお金はほとんど残りません。

乗車ごとの50円負担廃止、市バス路線の充実が可能です

大阪市で1972年から始まった敬老パスの制度は、お年寄りの外出を促し、健康の維持や街のにぎわいにも大きな役割を果たしてきました。ところが橋下市長による「公約違反」によってお年寄りの社会参加が困難になっています。また、自転車を使うようになって事故の件数も増えています。

敬老パス問題を通じて、大阪市政のあり方を一緒に考えましょう。



「敬老パスは維持します！」 ウソからはじまった「維新」市政

橋下市長は、「だまされないで下さい!!」「敬老パスは維持します。私鉄にも!」と4年前、市長選挙で公約していました。それを「バカみたいな政策」といって有料化しました。そして今、乗車ごとの50円負担の廃止などの改善さえ許さないという態度をとっています。



2011年11月に執行された大阪市長選挙の選挙公報

こんな発言して公約違反

- 「大阪市民は非常にぜいたくな住民サービスを受けている」(2012年4月)
- 「一駅分二駅分敬老パス使わずに、なければ歩いて行こう」(2012年5月市議会)
- 「こんなバカみたいな政策(敬老パス)をずっとやり続けている」(2012年12月総選挙前)



元市議団幹事長と いっしょに実現を!



- 敬老パスの改善
乗車ごとの50円負担を廃止
- 地下鉄1区と2区料金の格差を値下げで是正

「50円負担が始まって月平均で67万人の乗車人数が減り交通局は月平均1億1千万円の減収になりました。年配の方の生きがいつくり、社会参加を促すという当初の目的趣旨が損なわれています。負担軽減ができれば経済的効果もあがります。」(テレビ討論で発言)

市営地下鉄の 黒字は348億円 (2014年)

市営地下鉄は4年間で1000億円を超える経常利益を挙げている超優良企業です。市民に利益を還元するのは当然です。敬老パスの乗車ごとの50円負担を廃止することで、新たに市民の負担が増えることはありません。

「維新」は、システム改修費などを持ち出し、50円負担廃止を非難していますが、多額を要しない方式にすればよく、非難はあたりません。

年度	黒字額
2011	167億円
2012	268億円
2013	303億円
2014	348億円

市バス路線・便数の充実で 市民の足を守ろう!

赤字路線の廃止や減便で、市民の足が奪われています。市バス路線の充実で通院や買い物に不便のないようにするため、地下鉄と一体運営でバス路線の復活・拡充は可能です。

市民から寄せられた声

- 家から出ない人も子どものところに行ったり、知り合いに会いに行ったり、無料だから使うのです。敬老パスはいわば健康老人をつくる政策です。
- 郵便局や病院に行くのにも電車に乗らなければなりません。少ない年金暮らしに、50円の負担は苦しいです。